

# 第13回「機能性バイオ」ミニシンポ バイオものづくりと日本の展望



日時：2023年7月31日（月）13：00～17：10

会場：東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト・多目的ホール（事前登録制）

開催形式：現地開催 及び オンラインのハイブリッド開催

参加費：無料

主催：JST/OPERA機能性バイオ共創コンソーシアム

共催：産総研・生物資源と触媒技術に基づく食・葉・材創生コンソーシアム（食触コンソ）

協力：東京大学大学院 新領域創成科学研究科



【はじめに】（13：00～13：10）

ご挨拶

徳永朋祥（東京大学・院新領域・研究科長）

[10min]

【基調講演】（13：10～13：45）

バイオものづくりが導く低炭素社会

近藤昭彦（神戸大学・副学長/ 大学院 科学技術イノベーション研究科）

[35min]

【講演】（13：45～14：35）

東大新領域・LiSDaCで展開するゲノム研究の大きな流れ

— 腸内マイクロバイオーームにおける可動性因子の役割 —

木口悠也・鈴木 穰（東京大学・院新領域・メディカル情報生命）

[25min]

年間1万トンの微細藻類バイオマスは日本のどこにある？

河野重行（東京大学・院新領域・機能性バイオ協議会）

[25min]

・コーヒータイトム

[25min]

【招待講演】（15：00～15：50）

陸上養殖事業化のための研究開発

— 海藻は勝手に生えてこない —

佐藤陽一（理研食品(株)・原料事業部長）

[25min]

日本におけるバイオ燃料事業の現在地と普及への課題

尾立維博（(株)ユーグレナ・執行役員兼カンパニー長）

[25min]

・ブレイク

[10min]

【特別講演：合成生物学の衝撃】（16：00～17：00）

微細藻類を用いて合成生物学に挑戦する

松永幸大（東京大学・院新領域・先端生命）

[25min]

データ駆動型の合成生物学による生産株開発の加速

蓮沼誠久（神戸大学・先端バイオ工学研究センター）

[35min]

【おわりに】（17：00～17：10）

三谷啓志（東京大学・院新領域・JST/OPERA研究統括）

[10min]

【交流会】（17:30～19:00）2階ラウンジ（交流会は有料3,500円です）

OPERA「低CO2と低環境負荷を実現する微細藻バイオリファインリーの創出」  
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/functionalbio/event.html>



※イベントページの申込フォームから参加登録してください。

<事務局> 東京大学・新領域・JST/OPERA機能性バイオ共創コンソ推進室

細川 聡子、狼 美保子、八木 洋子 <opera\_algae@edu.k.u-tokyo.ac.jp>

▲イベントページ▲